



一年間の保育(二)

大阪市御津幼稚園 宮本光代

七月

本格的な暑さが訪れて参りましたので早々にプール開きを致しました。何時も走りまはつてゐる地面の下によもや斯んなプールを藏つて居やうとは思ひも寄らなかつた子供達は砂や板が取り去られて中から大きな池が現はれて來るのを驚きの眼で一日中眺めて居りましたが翌日から水を通じ噴水も立てられましたら俄然人氣の中心が此處に集りまして朝から大賑ひでございました。其の後は水鐵砲やバケツや人形、金魚等の玩具も取揃へまして、暑い日はパンツ一枚になつて此處で水遊びを致しますが其れが又此の上も無い喜び方で、年長も年少も毎日ノ、自分達の順番の來るのを待ちかねるのでございました。偶には氣の小さい子

申しますか皆の嬉しさうな顔もよそに、嫌だくく退いて見て居る計りの子もありましたが、之れなき餘りの賑々しさに反つて氣遅れがしたのでございませう。

涼しい日は入水を中止致しますが矢張り水際に集つて、龜を此の中へ移して、泳がして見るのも面白うございました。

此の頃のように暑さがきびしく、年長組も午前中の保育になりましてからは、會集も省き登園致しました子供からエプロンも上着も靴下も脱がして殆ど裸に近い服装で水縁が砂場が藤棚の陰なきで遊ぶ事にして居りました。

そしてお歸りの時は合圖があつて入室致しますと、服を着けて洗面に参ります。顔の汚れや汗をすつかり洗ひ落し

て銘々の手拭ひで良く拭き取つた後は保母がボアールの粉を刷いてやつて清々しい心持で歸すのでございますがこの事を致しますのにお歸りの時は何時も大變なのでございまして。水から上つて来た子供のパンツをし替へたり、砂だらけの足を洗つたり、着物を着せたり、手拭を一つ／＼もんだり干したり、未だ幼ない子供達では手を借りねば出来ない事計りですのでこの短時間の間保母の最も忙しい一時でございました、それでも暑さは凌ぐ術も無く子供も保母

も額や喉のあたり汗疹の数がだん／＼増えて参りますので、此の分ならば眞夏のきびしさが思ひやられるのでございまして。

中旬頃雨の日が続きましてから急に不順になつて涼しい日も出来ましたので蘇生つた氣持でさう云ふ時は成るだけ七夕祭りの製作を急いで致しました。

七夕祭りは毎年の習慣で八月の七日に行ふ事になつて居りました。笹へ付けます着物、五色紙、環つなぎ、瓜、星、短冊、網、西瓜なぎを七月のかゝりからぼつ／＼作り

始めて出来上り次第部屋の片隅に吊り下げて、當日を樂し

んで待つて居りました。もう「今日はたのしい七夕まつり……」の歌も良く覺えて遊び半ばでもふつ／＼誰かの口に出ましたものがやがて大きな合唱となりて響いて來る事もございます。

其の他に此の月は幼稚園の創立記念日がありました事、十四、十五日は八幡様の夏祭りで賑いました事、尙又月末には大仕掛けの防空演習が行はれました事なご暑い乍らも行事の多い月でございました。防空演習は大阪では初めての試みにて、全市民を舉げて非常な緊張、熱心さの中に期待されて居りました、數日前から各部内の豫行練習が行はれますし飛行機が毎日の様に爆音を響かして飛びまはりますし家でも話を聞いて來たりして、子供仲間でもとても防空熱が嵩じて來まして、お繪描きも製作も斷然、飛行機が中心になつて居りました。演習當日は幼稚園の遊戯室や保育室も救護室や避難所に使はれる事になり、平常は樂しい子供達の樂園も忽ち防護團員に、かためられることなふ有様でございました。

それで一日幼稚園でも防空演習ごっこをして遊ばうと云

ふ話が出て、押詰つた三十日の朝、子供の作つた飛行機三十臺程を庭園各所に吊しまして年長組の中で防護團員、兵隊、交通巡查、國防婦人會員等と、それ／＼役割を定めて、小さい組は避難民と云ふ事になり防空演習の眞似事をして遊びました。で私達はお部屋の外へ砂やバケツを置いて防護團員に導かれてお部屋からお部屋へ避難して参ります。救護班が来て繃帯を巻いてくれたり炊出しのおむすびや御馳走を澤山運んで来てくれますを頂いたりして居りました。窓から眺めますのに外は殆ど年長兒の活躍舞臺で、畫用紙で作つた防毒マスクを我も我も被りたりがりまして、バン／＼／＼積木の高射砲や鐵砲なぎが頻りに打續けられますしプールの水や砂なぎも頻繁に運ばれて行きますし、空襲を報じる拍子木の音も聞えて、暫くは戦ひ酣でございました。

そして最後は全部が遊戲室へ集つて戦争ごつこの歌を歌ひ、萬歳々々の聲高らかに私達の防空演習も面白く終へる事が出来ました。

翌、三十一日はいよ／＼同學期のお了ひでございますか

ら、道具箱や座蒲團の整理をして、皆で夏休みのお歌を歌ひ、暫くの別れを告げて歸つてまゐりました。

七月中の保育事項

(一) 手技

粘土(飛行機) 七夕祭り製作 紋形切りぬき ヨットの摺み紙 紋形きりぬき 五色つなぎ 輪つなぎ 西瓜短冊 星 着物(色紙) 自由畫(飛行機) 瓜 塗繪(西瓜) 飛行機製作(畫用紙)

(二) 談話

椅子ミテール 西瓜ミ子猿 西瓜ミねずみ 日本一の飛行機 コロリン爺さん 兎吉のお母さんの病氣 雷さんの子 みいちやん兎

(三) 唱歌遊戲 (◎標は歌のみ)

◎記念日の歌 水鐵砲 旗さし競争 ◎七夕祭り 水遊び ◎夏休み

(四) 行事

二日、全園兒保育時間短縮(十一時三十分) 七日、創立記念日 十二日、保育時間短縮(十時三十分) 十

四日、御津宮夏祭來拜 十五日、祭日 二十五日、

月例體格検査 二十六日、防空演習につき會集のみに
て放課 二十七日、二十八日、同十時放課 三十一
日、一學期終了式

八月

八月一杯は休園でございますが希望に應じまして全園で
二十餘名の者が助松學園の夏の幼稚園へ十日乃至二十日程
通つて居りました。南海沿線の海邊に設けられた幼稚園で
ございまして盛夏を過しますのに好適地なのでございます
から私達も出来るだけ虚弱な子供にお奨め致しましたが驛
までの送り迎へに、私達が同伴しない云ふ事で思案なさ
るお宅もございました。

又月の中に二度子供の召集がございました。七日の日は
かねて約束の七夕祭りを行ひ、暫く間をおいて二十一日の
日は間もなく始まりませす秋學期への心の準備でもありま
した。

九月

一ヶ月の暑中休暇も濟んで九月の一日から第二學期が始
ります。前學期の退園兒の替りに新らしく二人の女兒を
迎へる事になりました。暫く振りで登園して來ます子供を
部屋の中で待ち受けて合はす其の顔は何時もの様に元氣に
満ちて居りましたが長い休みの後の事にて、幾らか遠慮し
みた様子も見受けられますので、新入の子供を加へての最
初の中は極く自由な氣持で、庭に出て蝶々や蜻蛉を追ひか
けたり、朝顔の鉢の世話なごをしながらぼつぼつに幼稚園
生活へ移つて行ける様に仕向けて行きました。朝顔は垣根
の方も鉢植の蔓が休み中を我が物顔に伸びて、其れが毎
朝、先の先まで可愛い、花をいっぱいにつけて、登園して來
ます者を、優しく迎へて呉れますのは、何んなにか皆から
喜ばれて居りました。

未だく秋は名計りで相變らず残暑がきびしうござい
ますのでプールは入れこそ致しません。噴水が盛んに活躍
して居りますし、歸宅前の洗顔も七月の時と同じ様に行は
れて居て、お歸りも當分は短縮で十一時前でございます。

た。

授第二學期を、新らしく迎へて、心積り致しました事は、前學期は、子供達が家庭中心生活から、集團生活へ入ります最初の段階でございますから、未だ、保育時間も短く一日ノミ自然の流れに従ひまして、極單純な生活をして參りましたが日を重ねるにつれて、次第に先生や友達との關係にも興味が湧き幼稚園を一層楽しい所と思ふ様になりました上は今學期はもつこ此方から働きかけて集團的意識を強めて行く様に心掛けねばならぬ。又之れからはい、時候に向いて十月から午後の保育もある様になれば製作の方も計畫して力を注いでみなければならぬ。其れには先づまゝ事遊びを満して行きたいと、こゝろ云ふ風な事を考へて居りました。

だん／＼遊び良くなつてまゐりますさまゝ事遊びを非常に喜んで殆ど毎日の様に道具が使はれて居りました。まゝ事遊びには御馳走を造らへる事が最も大切な仕事になつて居りますから、その材料には、活花の残りや大根菜なぎが容易く得られます時は、大喜びで致しますがさうでない時

は止められる事が分つてゐても小石や砂を部屋の中へ持運んだりクレイオンを削つたりして、さうにか足りなさを充して行かうと致します。その心持はよく察せられますのでそれを止めさせ様として苦しむ前に之に替る物と思つて、さし當り粘土で野菜や果物類を作つて着色して果物籠に入れて與へました。それから又暫く經つて模造紙で巻すしを澤山製作して箱へ入れて置いてやりました。而してこんな既成品計りではまゝ事遊びの活動が限られて物足りない氣持が致しますので西瓜や夏みかんの種を集めまして持つて參りましたら非常に喜んで御飯やお豆にして木の葉の中にまぜて良い御馳走が作られて居りました。だん／＼暑さも去つて、秋の涼風も吹き出てまゐりましたから、せゝこましい室内よりも成るべく外へ／＼誘ひ出してお山の山や砂場の近所へ遊を敷ひて、道具箱や人形なぎ運び出して遊ぶ事に致しました。此の頃特に子供の健康の事が氣になつて居りましたから自分も努めて外出を心掛けて居りました。幼稚園の中で私の組が一番缺席率の多いのは小さいからでもございませうが矢張り保姆の行届かぬ結果が子供を

九月中の保育事項

(一) 手技

- 一、自由畫 一、海景色(貼り繪) 一、塗繪(ヨット)
- 一、家(摺み紙) 一、朝顔(貼り繪) 一、自由畫 一、粘土(果物店) 一、壁掛(貼り繪) 月(兎) 一、兎(摺み紙) 一、月見團子(貼り繪)

(二) 談話

- 一、秀雄さんの玩具(改作) 一、兎吉さんのお母さんの病氣 一、お月さまの籠 一、鼠から鼠へ 一、象の魚釣 一、三郎さん(蜻蛉) 一、嘘つき兎 一、ころりん爺さん 一、風(太陽の力比べ) 一、みーちゃん兎

(三) 唱歌遊戯

- 出た出た月 お月さまえらいなー スキップ 夕焼小焼 兎

(四) 行事

- 一日、始業式(短縮中十時半放課) 三日、八月分の體格検査 二十日、保育時間延長(十一時三十分) 二十一日、大暴風雨につき臨時休業但し全園人命異狀なし

弱くしてゐるのかも知れないとの懸念を抱く様になつて、日々の保育にも保健上の事に氣をつけ初めて居りました。その中に二十二日のお月見が程近くに迫つてまゐりました。今年は一見繰上げた二十一日にお月見會をして皆で遊戯會をする積りで、お部屋ではそのお稽古で可なり時間をかけて居りました。

然し忘れもしませぬ其の日の朝、あの思ひ掛けない風水害に襲はれて一同啞然と致しましたのを、幸い子供の怪我はございませんでしたが幼ない心はぎんなに恐ろしさに打慄えた事でございます。幼稚園では二階建の遊戯室がひどく傾斜致しましたし、庭園もむごたらしい荒れ方でございましたので二、三日の休日を得まして、全力を擧げて修繕を急ぎました。それで別に子供の保育に差支へる事もなく、間もなく元々通り續けて行く事が出来ましたが暫くは、恐ろしい風の思ひ出話で心の落付かぬ幾日かを過しました。そして此の月も終へようとする三十一日の夕頃二階建園舎の取毀ちの話が持上りました。

二十二日、破損箇所修繕につき右同 二十三日、二階
建中央部園舎を残り、各保育室使用保育開始 二十九
日、二階建中央部園舎取毀ち決定

十月

平常ならば今日から嬉しいお辨當がある筈ですのに園舎
取毀ちの爲當分休園を続けねばならなくなりました、此の
建物は可なり舊い日本建で建坪六十坪の中階下の遊戯室に
は、應接室と醫務室とが附いて居りまして、二階は全部疊
敷乍ら、此處で一組が保育を受けて居りました。さて取毀
つこなるこ、上下の室の荷物は全部取り出して隣室の赤組
の部屋と其の附近へ運ばれて参りました。今まで餘り手も
觸れて見た事もなかつた押入れや戸棚の奥から、随分珍ら
しい昔の保育玩具や兒童劇の時に用つた云ふ古びた衣裳
などが次々出て來るのでございました。中にはまゝ事遊び
に丁度いゝと思はれる箆笥や椅子お皿などの玩具が埒高く
積上げた廢棄品の間から出てまゐりましたのを早速拾ひ取
つて、お部屋へ持ち込んだのでございました。

其後の仕事は、役所の都合や、雨天などで仲々撓らず、
毎々規定の時刻に出勤しながらも子供氣のない保育室に籠
つて空しく手をつかねた儘毀ち去られる日を待つて居りま
した。然し何時までも斯うした假死状態を續けて行く事に
堪られなくなつて兎に角不自由なら二室を以つて保育を始
めましたのが十一日の日でございました。それで最初の間
は、七組を午前と午後と、休みの三部に分けて之れを交
代にして來ましたが十六日から四室が用はれる事となつて
之れで午前と午後との完全な二部保育が出来る事になつた
のでございます。十日間の休園の後に再び子供達を迎へ入
れる事が出來ました時、今までの物憂げな幼稚園の空氣も
高く明るい話し聲や笑い聲に温められて、朝の九時から三
時過ぎまでこんなに活氣付いた事でございませう。偶に、
築山の柵の隙間から傷ましい姿になつて人夫達の鋤やハン
マーの一振り毎に崩れて行く自分達の家を不安氣に打眺め
てる子供があつても、其處には今に新しい良い家が建
てられる事を吹聴して、行く先々に希望を持たせる様に
努めて居りました。

こうしてまあさうにか覺束ないくらしを續けてゐる中に、八幡宮の秋祭りが來、大阪灣には聯合艦隊の入港も、それと一緒に、壯觀な陸戰隊の觀兵式が行はれたりして周圍が賑々しくなるも純な子供の氣持は又何の屈托も無く其の方へさ向いて行くのでございました。

然し何ぞ申しましても自分の部屋さ云ふものを持たない借住居の不自由さは免がれませす靴置く場所も椅子の座蒲團も皆他人の名前を記した借物ですし、クレイオンや鋏などは必要な時々室へ持運んで來て使へば又運び去るさ云ふ有様でございました。

そう云ふ風な關係もございましたか之の頃の子供の始終騒々しい様子が氣になつて居りました。殊に休みの時間に他の保育室の様子を見たり保姆欠勤の組へ手傳いに行つたりしてみて、他の組の子供は、保姆の話も靜かに聞き、仕事さぎも云はれた通りに聞き入れて行儀良く出来るのに自分の組だけ何故あゝ騒々しく行儀が悪いのかさ案ずる氣持がいよゝゝ深くなつて來たのでございます。今年計りでなく、毎年私の預る組に限つて人一倍お喋りで落付きが無か

つた様に思はれますので、其の事について自分もよゝゝ案じて居りました。或は、私の話振りが非常に拙くて、一向傾聽する價值のないもので、子供の興味を惹きつける事が出来ないか、私の聲が悪い爲に子供に聞き取れにくく、返つて不快に、思はせるのか、又は、子供が自分に尊敬の心も信頼も失くなつて、それで私の氣持さぎ素直に受入れて貰へないのでは無からうか。或は又修養の足りない自分の缺點が良く見え透いてその影響が目に見えない力で子供に作用してゐるのではなからうかとも思ひめぐらしてみろ心に當る節々もあつて非常に淋しい氣持になるのでございますが、又時には子供を行儀良くさせ様、口を閉して靜かにさせ様とするのは此方が無理なので、あれで子供が楽しいのならばそれで良いでは無いか行儀は大きくなつてから良く習慣付ける事も出来るだらう。何も必死になつて纏める必要はないではないか、自分は纏めて命令したり説明したりする事が下手ならばその必要のある摺み紙や製作を抜きにした保育をして行けばいゝではないか、なごゝ樂觀主義に出る事もございます。兎に角訓練さか、賤けさか云

ふ保育方面に落度のある事を知りつゝも徹底させる事の出
來ない悩みを今尙持續けて來てゐる始末でございます。

授園舎の取毀ち作業も漸く終つて、材木も略々方付きま
したのでいよゝ二十九日から煩はしい二部制度も解消し
て一齊に元々通りの保育時間に戻りました。只赤組のお部
屋だけは物置きになつて居ります爲七坪の職員室に上敷き
を布いて其處で當分假住居をする事になりました。在席二
十七人にしては餘りにも狭過ぎる之の部屋で常でもあの様
に自發活動の旺盛な子供達がこれからはごんなに混雜する
であらうと思ふも、さても心配でございましたがそれでも
不自由はお互ひに忍ばねばなりませんので、一部屋二組合
併の組の事を思ふも其んな氣儘も申されなわけですして今
度はこの室を中心に、出來る限り、最善を盡して行かうと
覺悟を定めたのでございました。

十月中の保育事項

(一) 手技

粘土(自由製作) 自由畫(軍艦) 貼り繪(觀艦式) 水兵
帽子 粘土(軍艦) 自由畫(軍艦) 塗繪(柿) 柿ミ果物

籠(紙製作) 菊の花(色紙麥藁にて)

(二) 談話

お豆の好きな鳩 机ミ椅子 ぴよんぴよん 三匹の熊
赤ちやんになつたお爺さん

(三) 唱歌遊戯 (◎標は歌のみ)

◎兵隊さん ◎明治節 象 もみぢ 菊の花

(四) 行事

一日、二階建園舎取毀のため本日より十日間休園、職員
使丁備品運搬保育室模様替へ等に没頭 二日、前日同
様 三日、本日より取毀に着手 十一日、本日より
三部に別け二部保育をなす 十三日取毀完成 十五
日、秋祭にて休み 十六日、本日より年長年少の二部
保育をなす 十七日、神嘗祭 二十日、本日より取
毀の材料を搬出にかゝる 二十一日、大阪市主催風水
害遭難慰靈祭(中央公會堂) 二十九日、本日より平常
保育に復歸す、但午前中